

# 辺地等交通不便地への取組み 移動手段の助成を検討する



やまもと まきお 議員  
山本 牧夫 議員

**問** 辺地等で生活する交通不便地弱者や高齢者が体調を崩し、救急車で病院へ搬送されて治療を受ける場合がある。検査と治療に時間を要し、幸いにも入院の必要がない時は帰宅許可が出る。

この時の時刻と家までの距離が障壁となり、夜間はタクシー等を利用しないと帰宅できない。  
この利用料金に対し、一定の助成が出来ないか。

**答** 佐田健康福祉課長

この件について、現時点で支援する事業はない。救急搬送された場合は夜間に及ぶことが多い。その時点では公共交通も走ってなく、家族がいたとしても高齢者のみの世帯や免許返納しているなど、移動手段を持たないことも多くなっている。これから、ますますこのような状況が起きてくるのが想定されるので、今後に向けて検討していきたい。



辺地の集落（9月24日、熊野浦）

## 町道管理対策

### 草刈・支障木対策の充実 作業方法と単価を検討する

**問** 町道等については、新設される道路も含めて毎年、管理する区域が増大し、土木作業員や地域の人手不足もあって、担当課は草刈業務等に苦慮していると思われる。

地域住民にとって町道は、生活の基盤となるものなので、この対策として直営作業班の増員、地域委託料の単価アップを行って、作業効率の向上を図るべきではないか。

**答** 河村建設課長

町道の草刈りや支障木、土砂等除去については、29の地区委託と土木作業員による直営で、年に1〜2回行っている。諸事情で作業が遅れ、地区から早急にとの要望もある。今後は防草シートや新機種の草刈機導入を検討する。

草刈単価アップについては、区長の意見も聞きながら、人事院勧告や今後の情勢を踏まえて検討対応をしたい。



町道上の枯木（9月24日、中の川）